



さかた かずひろ 坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

2度の法令違反 に対する所感は

答 再発防止に 努めたい

問 地方自治法第96条
第1項第5号の解
釈として、契約金額に
変更が生じた場合、吉
岡町では、5千万円以
上であれば、専決処分
できる場合を除き、そ
の都度議会の議決が必
要であるとするこ
とで、間違いないか。

答 財務課長 その通
りである。

問 地方自治法が一定
金額以上の契約に
つき、議会の議決を必
要とした意義は何か。

答 財務課長 住民の
利益を保障すると
ともに、これらの事務
処理が住民の代表の意
思に基づいて常に適正

に行われることにある。
問 今回の駒小体育館
建設工事において
も、工事請負代金に変
更があった時点で、変
更契約について議会の
議決が必要だったので
は。

答 教育委員会事務局
長 その通り。

問 今回の工事では、
請負代金が増額し
たにもかかわらず、予
算措置もないまま工事

答 今後検討したい

中・高生に自転車保険の助成を

問 自転車事故で、加
害者に1億円近い
損害賠償責任が生じる
場合もある。少なくと
も、自転車通学の中・
高生に対しては自転車
保険料の助成をしては
どうか。

答 町民生活課長 今
のところ考えてい

が進められたが。
答 教育委員会事務局
長 本来ならば、
設計変更の方針が決ま
った時点で、工事を中
止し、必要な予算措置
を講じるべきであつ
た。

問 2度にわたる地方
自治法違反に対す
る町長の所感は。

答 町長 お詫びする
とともに、再発防
止に努めたい。

ないが、検討したい。

問 地域情報プラット
フォームは、コス
ト削減効果だけでな
く、一つの窓口で複数
のサービスが受けられ
る、ワンストップサー
ビスの提供が可能とな
るか。

答 総務政策課長 地
域情報プラットフォーム
の取り組みとは
異なるが、4月からの
機構改革で設置される
「住民課」に戸籍・住
民基本台帳業務、国保
関係、高齢者医療、福
祉医療などの窓口業務
を集約。総合窓口的機
能を有することにな
る。また、向かいに「介
護福祉課」を置くこと
により住民の移動負担
軽減につながるよう取
り組む。



早期完成が求められる（駒小体育館）



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



録画映像は
こちらをCHECK

給食センター 衛生管理基準 の現状は

基準を満たす よう工夫して いる

問 学校給食センターは、学校給食衛生管理基準を満たしているか。

答 町長 運用により汚染区域と非汚染区域を分け、衛生管理基準を満たすよう工夫している。

問 給食の食中毒事故の再発防止策は。

答 教育委員会事務局 長 平成22年度にサルモネラ菌による食中毒が発生。原因は給食センターの汚染など衛生管理体制に不備があった。再発防止策は、食材の検収体制の見直し、洗浄消毒の徹底など、町独自のマニュアル作成を実施した。



令和元年度完成の林道栗籠・井堤線とデ・レイケ自害沢9号堰堤

問 安全で安心な学校給食を持続的に提供するためには。

答 町長 給食センター運営委員会からの答申書を尊重し、今後の方向性を検討する。

問 義務教育は無償という考えのもと、スクールバス無料化は。

答 町長 通学バスは、上野原地区を通っている県道前橋伊

香保線で運行していた路線バスが、昭和63年度に廃止。子どもたちの通学に支障を来すことから、平成元年4月から町で始めた事業。

通学バスの運行は受益者負担の原則から、ある程度の負担は適正な行財政運営だと考える。

平成20年から使用料を半額にして保護者負担軽減を図っている。

林道栗籠・井堤線の洗い越し占有許可の進捗状況は。

答 産業建設課長 再度協議を行った結果、許可の見込みがない旨の回答を得た。

問 不許可の理由は。

答 産業建設課長 洗い越しは道路上を河川が平面交差するため、通行者の安全確保が不可能。昨年の台風19号による災害が少なからず影響している。

問 今後の計画は。

答 町長 地元の方々と協議から始めるしかないと考えている。

を増設し、上りと下りとして設置。児童生徒の居住場所を踏まえて安全性の面から判断設置した。

対側に、新たな停留所

洗い越し占有許可の進捗状況は

許可の見込みがない

問 県との折衝の中で、勉強不足は否めない。ほかに施策はないのか。

答 町長 今後、協議、検討していけたらと思っています。

問 令和2年度の工事区間は。

答 産業建設課長 予定通り滝の沢川まで実施する。



こいけ はるお 小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

駒小体育館工事 手続上違反では

重大な違反・ 認識の甘さ 深く反省

問 入札と契約問題で、駒小体育館建設請負工事の増額契約は、手続きの上で地方自治法違反があったと言うことで、これを認めると言うことでしょうか。

答 町長 子どもたちのために一日も早く完成をとの意気込みが強かったために、重大な違反があり、認識の甘さがあったと、深く反省している。

問 体育館解体工事の時に、くいが支持層まで届かないことが確認された。この時点で変更協議が正しく行われ、変更契約・契約

答 町長 子どもたちのために一日も早く完成をとの意気込みが強かったために、重大な違反があり、認識の甘さがあったと、深く反省している。

議決を得るべきではなかったか。

答 教育委員会事務局 本来であれば、変更契約の議決の後にすべきだった。

問 支出負担行為について、地方自治法

232条の3、法律、政令地方公共団体の条例及び財産などに関する規則との整合性、契約手続き全般について、地方自治法、地方自治法施行令などから見ると、支出負担行為は正しく契約がなされていない場合は支出できないと定められている。法令の規定に違反して支出負担行為をして、町に損害を与えた場合は、賠

償責任が問われる。会計管理者として大変厳しい対応を迫られると思う。このような議論がなければ、正しく支出負担行為が発生したと理解できると思うが、誤った手続きが行われたことが明らかになった上での支出負担行為は問題ないのか。

スラグ問題、榛東と協力し臨むべき

答 協力し対応する

問 先日、榛東村議会・吉岡町議会で合同

の視察を行った。視察に先立ち、榛東村長か

ら30分ほど話をいただき、多くの議員が、そのままスラグ問題を放置すれば吉岡町にどんな災害が待っているかと、不安を感じたと思う。榛東村長から、撤去のためには裁判も辞さずとの決意も伺った。町の将来のため、榛東村と一致協力し問題解決に臨むべきでは

と思うが、町長の見解は。
答 町長 吉岡町の水源に影響を与える場所。大同特殊鋼に対し、水源に影響を与えないよう、将来にわたる適切な対応をするよう求め、榛東村と連絡を取り合い協力し対応していく。



スラグ問題への適切な対応が求められる (榛東村メガソーラー)



いいじま まもる 飯島 衛 議員



録画映像はこちらをCHECK

自治体SDGsの取り組みは

答 第6次総合計画に盛り込みたい

問 国連で採択されたSDGsの持続可能な開発目標は「誰一人取り残さない」との理念を掲げている。町での取り組みは。

答 総務政策課長 策定予定の第6次総合計画に盛り込みたい。

問 教育現場ではどう取り組んでいくの

か。

答 教育長 問題解決的な学習のさらなる充実と、教科横断カリキュラムの工夫などに取り組んでいく。

問 保育料無償化による町の負担は。

答 町長 2500万円ほどである。



住宅地の未舗装道路

問 副食費の無料化はできないか。

答 健康福祉課長 無償化には、4千万円程度を見込んでおり、全体のバランスを見た中で考えたい。

問 保育園では、事務の負担が増えたとの意見が多かったが。

答 健康福祉課長 早くに園の方に意向

を確認したい。

問 自動車誤発進防止装置の助成は、購入費の2分の1、限度額2万円だが、国の補助制度も利用できないか。

答 町長 近隣市町村の状況を見て判断したい。

問 タクシー事業の見直しが必要と思う

が。

答 町長 相乗り推奨タクシー事業と福祉タクシー事業を一つにし、吉岡町タクシー運賃等助成事業としたい。

問 ドア・ツー・ドアなどの仕組みが大事と思うが。

答 町長 新規のタクシー事業の利用拡

大を図ってから、次に進めたい。

問 高齢者の孤食というのが問題になっており、子ども食堂と併用できないか。

答 健康福祉課長 ロバロバを使っている世代間交流については、良いアイデアだと思いい検討したい。

計画的な道路整備ができないか

答 難しい現状である

問 民間の宅地造成前に道路の計画的な整備が必要と思うが。

答 町長 道路需要を見越した整備を行うことは非常に難しいと考える。

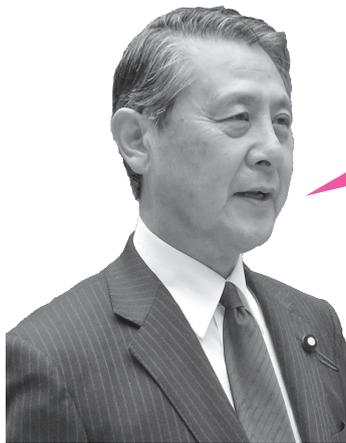
問 吉岡バイパスの西側の側道を、大型商業施設の進入路にすべきと思うが。

答 産業建設課長 交通状況の変化な

ど、対応を県に要望したい。

問 新型コロナウイルスなどの対策で、買い占めなどがあるが、町のマスクの備蓄はどうなっているか。

答 健康福祉課長 5千枚ほど常備しており、業務上必要な分を配布している。



いづか けんじ 飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

道路冠水と 路肩流失の 対策は

排水パイプ の拡張を JRと協議

問 上越線の路肩流失、
解決策の進捗状況
は。

答 産業建設課長 J
Rの側溝に接続し
ている排水パイプの口
径を拡大する対策を検
討・JRと協議中。

問 吉岡バイパス・大
松交差点の混雑が
増加。将来を見据えた
混雑緩和策として、大
松交差点から関越道の
区間は4車線化が必要
では。

答 産業建設課長 当
該区間が2車線の
理由は、過去の交通量
予測、関越道のカルバ
ート幅、側道の幅員な
どを考慮した結果。ま

た、関越道までを4車
線にすると、関越カル
バート付近で渋滞が発
生するため、大松交差
点で交通量を絞ってい
る。

問 さらになる開発計画
が予定されている

待機児童の解消策と、その目標時期は

今後3年間で解消予定

問 幼稚園・保育園は、
今だに入園希望者
全員にゆえられていな
い。改善策と待機解消
の目標時期は。

答 町長 3年間で50
人程度の定員増を予
想定した増改築を予
定。

問 その50人で待機解
消となるのか。

答 健康福祉課長 人
口動態・出生数・
現在の幼児数などを考
慮すると、待機解消と
なる。

地域のキー交差点で、
交通量を制限する方策
で良いのか。

答 町長 当該区間は
県道であり、その
建設は県の指導により
なされている。

問 吉岡町以外の幼稚
園などに通ってい
る子どもの実態は。

答 健康福祉課長 1
00人を超える子
どもたちが町外に通っ
ている。従って、その
子どもたちに保育が、
必要になった時を想定
しての、施設整備が重
要と考える。

問 元気になるカフェ
エ・ロバロバの開
催日を増やせないか。

答 健康福祉課長 カ
フェの担い手は認

知症サポーターなどの
ボランティア。担い手
が少なく育成が急務。

問 数に限りのあるボ
ランティアに負担
をかけるのではなく、
サポーターを増やせな
いか。

答 健康福祉課長 サ
ポーター育成の講
習会を多くするととも
に、開催の時間を工夫
するなど、一部の人に
負担を集めないように

できればと考える。

問 観光事業の目玉と
言うべき、船尾滝
周辺の開発を、今後ど
のように進めるのか。

答 町長 滝周辺の地
形地質を考慮し、
豊かな自然環境を維持。
埋もれていた資源の魅
力を生かすことで、船
尾滝を起点とした周遊
式観光の場ができれば
と考えている。



毎週、複数回の開催が望まれるロバロバ